

## 研究紀要 看護学・リハビリテーション学編の創刊にあたって

看護リハビリテーション学部

学部長 津 村 智恵子

あと数年で90周年を迎える伝統ある甲南女子大学に、2007年4月に看護リハビリテーション学部が新設され1年を迎えようとしています。近年の社会情勢の変遷と保健医療福祉分野の急速な進展を背景に、「まことの人間をつくる」を建学精神とし、全人教育・個性尊重・自学創造の教育方針を掲げて社会の要請に応え、女子大における実践的・学術的探究心を育てる教育の一環として、生命と健康の尊さを高める看護職者および理学療法士養成の本学部が誕生いたしました。

「大学全入学時代」の到来を踏まえて、大学間競争から取り残されないためには、全教員に教育や社会貢献とあわせ、研究活動・業績が当然ながら求められます。本学部教員として、一人ひとりの教員の日頃の撓ゆまない研究への情熱と努力の持続が、開学後、日なお浅く、時間的余裕もない中を、ここに本学部研究紀要の創刊号を発刊させるまでに漕ぎ着けましたことは大きなよろこびです。

本学部の研究紀要発刊は、これから私どもが視野に入れ当面の取り組むべき目標として、いる看護学研究科ならびに理学療法学研究科設立への第一歩でもあります。そのため質の高い研究論文が掲載できるよう審査基準と査読制度を設けました。本学部教員全員が、自分の研究領域・方向性を定め、目的地である大学院づくりに向け研究に取り組んでいただき、「研究紀要 看護学・リハビリテーション学編」が、そのナビゲーターとなることを期待しています。

今後とも関係者の努力と協力により、本学部研究紀要の発刊が一層充実した魅力と個性に溢れ、特色ある看護リハビリテーション学部研究紀要への発展の礎となることを願っております。

平成20年3月 吉日